

様式第 6（第 8 条関係）

ダイオキシン類測定結果報告書

年 月 日

栃木県〇〇環境森林(管理)事務所長 様

報告者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

ダイオキシン類による汚染の状況について測定したので、ダイオキシン類対策特別措置法第 28 条第 3 項の規定により、次のとおり報告します。

表 1 排出ガス

採取年月日 及び時刻 (開始時刻～ 終了時刻)	排 出 ガス量 ($\text{m}^3\text{N}/$ 日)	排出ガス 中の酸素 濃度(%)	測定箇所	特定施設の 名称及び使 用状況	分析年月日	測定結果 ($\text{ng-TEQ}/\text{m}^3\text{N}$)	試料採 取者	分析者	備考

表 2 排水水

採取年月日 及び時刻	測 定 場 所		特定施設の名称 及び使用状況	分析年月日	測定結果 ($\text{pg-TEQ}/\text{L}$)	採水者	分析者	備考
	名称	排 水 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)						

表 3 ばいじん等

採取年月日 及び時刻	試料の種類	採取箇所	特定施設の名称 及び使用状況	分析年月日	測定結果 ($\text{ng-TEQ}/\text{g}$)	試 料 採 取者	分析者	備考

- 備考 1 報告書及び別紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（以下「規則」という。）第 3 条第 1 項に基づき換算した測定結果については、別紙 1 を添付するものとする。
- 3 規則第 3 条第 2 項に基づき換算した測定結果については、別紙 2 を添付するものとする。
- 4 2 以上の測定結果がある場合は、添付する別紙 1 又は 2 のそれぞれとの対応関係がわかるように備考欄に記載すること。
- 5 排出ガスにあっては表 1、排水水にあっては表 2、ばいじん及び焼却灰その他の燃え殻（以下「ばいじん等」という。）にあっては表 3 に記載すること。なお、同一届出者が大気基準適用施設及び水質基準対象施設をともに設置している場合には、併せて 1 葉の様式に記載すること。
- 6 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が 1 気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、測定結果については、標準状態における排出ガス 1 立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 7 2 以上の水質基準対象施設を設置し、異なる排水系統を有する水質基準適用事業場にあつては、それぞれの排水系統の排水口ごとに測定を行い、結果を記載すること。
- 8 表 3 の試料の種類として、ばいじん、焼却灰、混合灰又はこれらの処理物（処理方法）の別を記載すること。